



2012 ~ 2013 年度
R I テーマ

Peace Through Service 奉仕を通じて 平和を

国際ロータリー会長 田中作次(国籍・日本)

2720 地区

別府中央ロータリークラブ



例会日 火曜日 12時30分
ところ ホテルニューツルタ 〒874-0820 別府市北浜1-14-15
TEL (0977) 22-1110 FAX 21-1019
事務所 別府市西野口町1番1号 青山通りビル 3F
〒874-0931 TEL (0977) 23-9000
FAX (0977) 23-9019
<http://www.beppu4rc.jp/chuo/>
E-mail: info@beppu4rc.jp

理事	高宮 勝美	理事	大島由美子	役員	会長	高宮 勝美	SAA	亀井 孝
〃	森園 伸也	〃	村津 忠久	副会長	森園 伸也	直前会長	亀井 孝	
〃	木村 きぬゑ	〃	近藤 賢司	幹事	前田 哲矢			
〃	森 宗明			会計	大江 知巳			

VOL. 25-37
2013年4月9日

第1138回例会

会報委員長 河村 貴雄

- ◆点 鐘 12:30
- ◆R S 我等の生業
- ◆唱 歌 チューリップ
- ◆ゲスト ホッセイン・モハマッド・イムランさん
(2012学年度米山奨学生)

会長の時間

会長 高宮 勝美

皆さん、こんにちは。会長の高宮勝美です。

今日は風もなく暖かな一日に成りそうですが、先日の日曜日は通年の感覚でお花見を予定して居た方が多かったのではなかったでしょうか？私も別府公園と鉄輪の地獄地帯公園の2ヶ所で花見に誘われていましたが、小雨交じりの冷たい雨と強い風が時々吹く悪天候の中、出来たら中止を…と願っていましたが、別府公園の方が中止され、正直ほっとしました。

地獄地帯公園の花見会場は強行するとの連絡が有り、完全防備の真冬のいでたちで行き正解でした。花見は、天気の影響と主催者の的確な判断で早めに終わったのですが、一滴のアルコールで人格の変わる我々はアルコールを求めて街に出ました。しかし 街は人通りが無く寂しい限りでした。

昨日は予定日の悪天候で延期されていた別府市恒例の扇山の火祭りが行われました。いよいよ別府に春が訪れるのだな…と思いましたが、私は今年の火祭りをうっかりして観ていませんでした。何処で呑んでいた時だったのかな？

今日の例会にはゲストとして、ホッセイン・モハマッド・イムランさんがいらっしゃいますが、2012米山奨学生として今日の出席が最後となります。

本日の会員卓話は、梶田健治会員ですが、今日のテーマは「アラブの世界」です。会員のお父

◆出席報告

幹事 前田 哲矢

本日 の 出 席	会 員 総 数	27 名
	出 席 者	17 名
	事前メイクアップ	4 名
	理 事 会 承 認	1 名
	出 席 免 除	2 名
欠 席 数	出 席 率	68 %
	出 席 率	68 %
前々 回 の 訂 正	出 席 率	76.92 %
	事後メイクアップ	1 名
	理 事 会 承 認	2 名
	出 席 免 除	1 名
	修正出席率	84.62 %

連 続 一 回
通 算 744 回 100 %

・メイクアップ

事前 梅津 (別府北)
河村、森、平野(英)(別府東)
事後 大島 (別府北)
欠席 堀、衛藤、中尾
理事会承認 岐部
出席免除 溝部、鳴海

さんとお兄さんは、共に豊後高田RCに所属し、健治会員は私達の別府中央ロータリークラブのチャータメンバーとして活躍して頂いている、素晴らしいロータリー一家でございます。この後の卓話を楽しみにしております。

最後になりましたが、次期の役員研修等が始り、



会場の熊本県まで車で行かれる時が多いと思います。安全運転には特に注意して頂きたいと思います。

幹事報告

前田 哲矢

—雑誌月間—

1. 本日の卓話
「アラブの世界」
梶田健治会員
2. 本日のゲスト
ホッセイン・モハマッド
・イムランさん
(2012学年度米山奨学生)
3. RI第2720地区会員増強セミナー開催のお知らせ
日 時 平成25年5月31日(金)13:30~16:30
場 所 熊本市国際交流会館
(熊本市中央区花畑町4-18)
出席義務者 次年度/会長、会員増強委員長
4. 第10回定例理事・役員会報告
(平成25年4月2日(火)18:00~ 於:春香苑 9名)
 - 1) 2015-2016年度ガバナー候補者推薦について。※今回は推薦者なし
 - 2) 2012-2013年度皆勤・精勤お祝い記念品の件。
※次年度より1年目の会員へ会員章を贈呈(1,000円)、3・5・10・15・20・25年目~皆勤・精勤の会員の方は年度末に例会で表彰する。
 - 3) 新会員推薦者への記念品の件。
※次年度より1人、複数に関係なく推薦会員へ会員章を贈呈(10,000円)
 - 4) 2013年度ロータリー米山記念奨学生のカウンセラーに津末美代子次年度米山委員長を選任の件。※承認
 - 5) 日章旗の件。
※近藤賢司会員が予備用日章旗を寄贈。
ロータリー旗は継続使用。
 - 6) 4月・5月例会予定の確認
4月2日 「花見例会」於:春香苑
9日 「アラブの世界」梶田健治会員
16日 「ゲスト卓話」
豊和銀行頭取 権藤 淳氏
23日 「地区協議会報告」
30日 「定款第6条第1節(C)に基づき休会」
 - 5月7日 「会員卓話」梶原和朗会員、森宗明会員
14日 「会員卓話」森園伸也会員、木村きぬゑ会員
21日 「ゲスト卓話」大分県立南石垣支援学校
28日 「会員卓話」前田哲矢会員、衛藤秀子会員
5. 4月6日(土)11:00~ホテルサンバリーア
ネックスに於いて、「2013学年度ロータリー



米山奨学生とカウンセラーのためのオリエンテーション」が開催され、津末美代子カウンセラーが出席されました。

6. お祝い
会員誕生日 平野教康会員(4月9日)
結婚記念日 後藤 隆会員(4月13日)
※記念品をお渡し致します。



皆 勤 河村貴雄会員(3月28日=24年)
梶田健治会員(3月28日=24年)

7. 例会変更のお知らせ
別府RC 4月12日(金)の例会は、花見家族例会の為 4月14日(日)15:00~城島高原パークへ日時・場所変更
大分南RC 4月19日(金)の例会は、夜の親睦例会の為 4月18日(木)18:30~トキハ会館4Fに日時変更
津久見RC 4月23日(火)の例会は、早朝座禅例会の為 同日7:00~解脱寺に時間・場所変更
大分東RC 4月25日(木)の例会は、夜間例会の為 同日18:30~「大分オアシスタワーホテル」に時間・場所変更
別府RC 4月26日(金)の例会は、スチッタ君のスリランカカレー例会の為 同日18:30~別府中央公民館に時間・場所変更
8. 次週の予定
「ゲスト卓話」豊和銀行頭取 権藤 淳氏
「会員コラム」平野英壽会員
*原稿をお願い致します。
9. 本日の回覧
①中津中央RC 週報
②「別府市近隣7RC合同親睦ゴルフ大会」
出・欠席
③「東日本大震災復興チャリティコンサート」
チケット希望購入
10. 本日の配布
①週報No.1136、1137
②ロータリーの友4月号
③ガバナー月信No.10

スマイルボックス

委員長 大江 知巳

○高宮会長

今日は梶田会員の卓話楽しみにしています。



○**梶田会員**

今日は卓話です。恥ずかしくない卓話をしたいのですが、いつも恥ずかしい卓話になります。今日もそうかなあ？

○**平野(英)会員**

福岡出張の為、梶田先生の卓話を聞けなくて残念です。

○**大島会員**

梶田先生お久しぶりです。今日は先生の卓話を楽しみにきました。ガンバッテ下さい。

○**村津会員**

梶田先生の卓話、楽しみです。期待してスマイル。

○**亀井会員**

最近、街乗り用の自転車にたまに乗ります。追い風の時はスイスイですが、向かい風の時は大変きついです。が、ペダルを漕ぐのをやめると倒れます。倒れない様に少しずつゆっくりと進みます。進む事を止めず少しずつゆっくりと前へ進みたいと思います！

○**平野(教)会員**

56歳になりました。もう56歳になったんやなあ〜が実感です。今年1年人を大事に過ごしたいと思います。

○**後藤会員**

結婚記念日忘れていました。今鳥肌がたっています。ありがとうございました。

○**木村会員**

イムランさん、学生生活楽しかったですか？
梶田先生、元気そうで。卓話楽しみです。

○**大江会員**

梶田先生の卓話を楽しみにしていましたが、仕事が入ったので残念です。梶田先生ガンバレ〜♪それと先日は従業員がお世話になりました。

思いお話しをさせていただきます。

勿論、一週間や十日ぐらいの旅行でその世界が理解出来たとは思いませんが、自分の旅行ではなるべくその国の文化に触れるように、出来るだけ一人で行き、宿泊先は民宿か民家をしています。モロッコに行こうと思ったのも、サハラ砂漠の入口のワルザザートという町に、日本人の画家が民宿を開いていると知り、それがきっかけでした。

モロッコへはエミレーツ航空でドバイを経由して行きました。エミレーツ航空は今や世界の航空会社でドバイの空港には二階だてのエアバスA380が数十機並び壮観です。人気のカタール航空といい、石油の安い中近東の航空会社は強い。

ドバイからモロッコのカサブランカに行く機内での出来事、隣りに「アラブの絶世の美女」が乗って来たのでニンマリしていると、パーサーが飛んできて、肩ごしにこちらの顔をチラチラ視ながらアラビア語で「ゴメンね、ゴメンね、こんなナニ人か分からん、むさ苦しい男の隣りになって。すぐに席を探してくるから待っててネ」と言っているのではないか。(アラビア語はまったく知らないが確かにそう言っていた)

そしたらその女性が「いいのよ、ここで。荷物もあるし」(と言ったと思う)、その後パーサーは立ち去ったが、なんと五分後に肥満体の大男を連れて戻って来て、女性と座席を変えてしまった。その男は行儀が悪く、まさに「天国から地獄」となった。

降り際にその女性の方を見ると、女性と同席にさせられていたので、アラブの世界では、戦前の日本のように「男女六歳にして同席せず」てことか？

「カサブランカ」というとハンフリー ボガードとイングリッド バークマンの映画を思い浮かべるでしょうが、実際の街は大きいがそんなに洒落てなく、あれは全部ハリウッドのセットで撮ったのだそうだ。街の中心部のハイアットホテルの一階にそのセットを模したバーがあり、ピアノで一日中「as time goes by」(時の過ぎゆくままに)が流れているだけだった。

次の目的地の「マラケシュ」へは鉄道で移動したが、途中の風景は、草原の中、羊が群れて牧歌的。「マラケシュ」には世界遺産のフナ広場という大道芸人が沢山集まった広場があるのだが、その広場を見渡せる絶好の場所のレストランのテラスに行こうとしたら、なんと前日、テロにより爆破されてなくなっていた。さすがプロの仕業で特等席の外国人のみ十数人フッ飛んだらしい。一日

卓 話

梶田 健治

「アラブの世界」



昨今、「アラブの春」やイラン、シリア問題、又アルジェリアにおける日系企業への襲撃など、何かと話題になっているアラブ世界ですが、日本人にとって一番遠くに感じる地域でないでしょうか？

今回、私が、病気で倒れる直前、最後の旅となった「モロッコへの旅」で遭った出来事や、昔、行った「レバノン」の紛争地帯での体験などを通し、「アラブの世界」の一端でも分かっていただければと



前だったら僕も犠牲になったかも。

「マラケシュ」での出来事の一つ。タクシーに乗って有名なホテルの前を通りかかっていると、突然、中からドアマンが出て来て、僕の乗っている車を強引に止め空港に行けという、運転手も断わっているのに、フランス人のセレブのマダムとその若い恋人のカップルが乗ってきて、結局、僕は用も無いのに空港まで行く羽目になってしまった。そのようにモロッコでは宗主国であるフランス人が絶対的なのです。

「マラケシュ」では「リアド」に泊まりました。「リアド」とはメディナという迷路のなか程にある宿で、綺麗な中庭を囲んでモロッコ風の部屋があり、日本で云えば、さしずめ京都の路地の奥にある、庭のきれいなこじんまりとした和風旅館という感じでしょうか。

これが家庭的で居心地よいのです。偶々そのオーナーが日本で英語教師を長い間していたイギリス人だったのも幸いでした。

アラブの家は外側からは土壁しか見えませんが、中に入ると立派でカラフルなモザイクに飾られ、中庭には噴水までありけっこう豪華。このようなどころでは、必ずミントティーが出て来て、心が安まります。ミントティーは、沢山のミントの葉に緑茶を淹れ多めの砂糖を加えいただくのですが、僕も気に入り、自宅の周りにミントを植えて、今も音楽を聴く時に飲んでいます。

さていよいよ、サハラ砂漠に住んでいる画家の森分家に向けて出発です。バスで五時間、四千メートル級のアトラス山脈を越えないと行けません。万丈の山千仞の谷で雪までふる始末。

山脈を下るとそこはもうサハラ砂漠の入口、ワルザザートの町。バス停で降り、回りを見渡すと、たむろしているオジサン達が、皆、一斉にあるお店を指差したので、そこに行き、「森分さ〜ん」と言うと、ニコニコしたベルベル人の男が出て来て、車で森分家まで送ってくれました。

車中、その男が言うには（何語かはわからないが）、森分さんは今、第二夫人の家にて不在だから、ご主人はどこに行ったのかは訊かない方がいいといていた。又、第二夫人はコココーラの色をしている。など余計な事まで言っていた。

確かに、御主人はいなかったが（三日間帰って来なくて会えずじまい）なにも問題はなく、そこを拠点とし、砂漠やオアシスを訪れたり、「アラビアのローレンス」、「バベル」などのロケ地で有名なアイトベンハッドウなど観光して廻りました。

アラブの男性は総じて優しく、特に旅人には親切で、レバノンで水たまりで転けた時など、皆、寄って来て助けてくれ、タオルを差し出す人や、中にはジュースを持って来てくれたひともいます。大体、アラブでは、大のおとなが昼間からブラブラしている（もちろん男だけ）ので、道を訊くのも困りません。

男たちは伊達者でいつもきれいに頭の手入れをしているので、散髪屋さんは安くて上手い。だから、モロッコでもレバノンでも散髪に行きました。道を歩いているその辺の人に頭をハサミで刈るゼスチャーをすると、自分のイキツケの散髪屋に連れて行ってくれます。はずれはありません。

何故、アラブの人々は優しいのか？ それはやはりイスラム教にカギがあると思います。

森分さんちの子供達とテレビを観ていると、ドラマ自体が「コーランの教え」を基にしているように思えます。面白くも何とも無いのですが、子供達は真剣に観ています。

日本人でムスリムに改宗した人の話しでは、イスラム教と仏教は似ていると言います。

又、「おしん」がイスラム圏で爆発的にヒットしていると聞きます。

「アラブの世界」の優しさ、穏やかさが、なぜか心安まるのは、古き良き時代の日本を思い起こさせるからかもしれません。

会員コラム

近藤 賢司

「品のある女性」とは？

女性が女性に対して「あの人は品がある」と感じるのには「マナーの良さ」だそうです。

では男性から見た「品のある女性」とは

- 〔1位〕 言葉遣いがキレイ
- 〔2位〕 話す口調が穏やか
- 〔3位〕 食事のマナーが良い
- 〔4位〕 仕草がやわらかい
- 〔5位〕 姿勢が良い

- 〔6位〕 知的
- 〔7位〕 字がキレイ
- 〔8位〕 黒髪

特に「言葉遣い」はダントツです。2位の「話す口調が穏やか」と考え合わせると、きれいな言葉遣いで穏やかに話す女性が品が良いと思われているようです。

次回は女性から見たステキな男性を特集してみよう…。